



納得できますか？旧県立図書館 (仮称)盛岡市歴史文化施設計画

私は六月定例会の審議を通して、旧県立図書館跡に建設をしている
(仮称)盛岡市歴史文化施設に対する大きな疑問を持ちました。

一つはヒマラヤシダー(ヒマラヤ杉)の伐採に象徴される市民の声を聞かない姿勢。もう一つは公平と言えない入札の方法についてです。

市民の意見を聞く前に伐採

旧県立図書館を歴史文化施設に
改修するため、敷地内のヒマラヤ
シダーを伐採する計画が発表され
たのは先月末のこと。その後、た
くさんの方々が反対の声を上げた
のはマスコミ報道のとおりです。
しかし盛岡市は六月三日に急遽

現地説明会を開いただけで、数日
後には市民からの提案を検討もせ
ず建物の東側一五本を伐採。むな
しい結果となりました。

そもそも谷藤市長は就任当時か
ら「市民参画のまちづくり」を公
言してきました。今回の歴史文化
施設についてもパブリックコメン
ト(実施前に市民の意見を聞き、
事業に反映させる制度)を行うと
しています。それならば伐採を遅
らせて再検討するべきです。

行政に都合の良いことは聞くけ
れど都合の悪いことは聞かないの
は市民参画ではありません。市民
の意見を事業に活かしていくルー
ル(市民参加条例など)の制定が
必要です。

特定の業者が有利な入札

今議会では同施設の展示政策業
務の請負契約締結が盛友会、市民
連合、新盛同志会、公明党などの
賛成で可決されましたが、この入
札が非常におかしいものでした。

約四億二五〇〇万円で落札され
たのですが(指名競争入札)落札
した会社は同施設の基本設計を行
い展示室の見積を出しています。

自分の会社が設計を行ったので
あれば一番落札しやすい金額を投
票できて当たり前ではないでしょ
うか。市はこの会社を指名業者か
ら外すべきだったと思います。

また、施設の一階と二階は用途
が異なっているのに、請負契約を
二つに分け、予定価格を小さくす
れば県内業者も入札に参加できた
はずですが、その様な検討も行わ
れた気配がありません。

「百年に一度」と言われる不景
気の中で地元業者に配慮しないば
かりか、不公正と言われても仕方
のない入札方法を行う、この様な
やり方を改めさせなければなりま
せん。

盛岡市議会議員

いせ志穂 (所属会派 改革・みらい)

事務所 〒020-0133 盛岡市青山3丁目29-4

電話・FAX 019-645-8510

<http://ise.nahan.jp/> E-mail: ise@nahan.jp

官僚支配をやめさせて 景気回復のための予算を！

百年に一度と言われる大不況の中、政府は景気回復のためと言う名目で大型の補正予算を組んでいます。しかしその内容は「一部の官僚や業界団体のため？」と思われる事業が数多く含まれています。

もうすぐ総選挙。特定の人たちだけを利用する政治にストップをかけ、多くの国民のための景気回復を実現しましょう。

補正予算の二割が
天下り先への支出



五月八日の朝刊によれば、政府が国会に提出した〇九年度補正予算の総額一四兆七〇〇〇億円の二割ちかく二兆八五〇〇億円余りが国家公務員〇Ｂの天下り先に支出される計画であることが民主党の資料請求に対する政府の回答で分かりました。

補正予算案は、住宅・不動産事業者に資金支援を行う住宅金融支援機構など、天下り先となっている四九の独立行政法人に計一兆五六一〇億円、雇用対策を

実施する中央職業能力開発協会など、天下り先の公益法人にも、計一兆二九四四億円を支出することになっていました。

民主党によれば四九の独立行政法人には、昨年四月現在で計三八九人の国家公務員〇Ｂが在籍。公益法人にも集計可能な分だけで一七〇人を越える国家公務員〇Ｂが再就職しています。

公益法人は宴会に税金を使い
かたや母子加算は廃止

五月十八日放送のスーパーモーニングでは驚くべき事実が

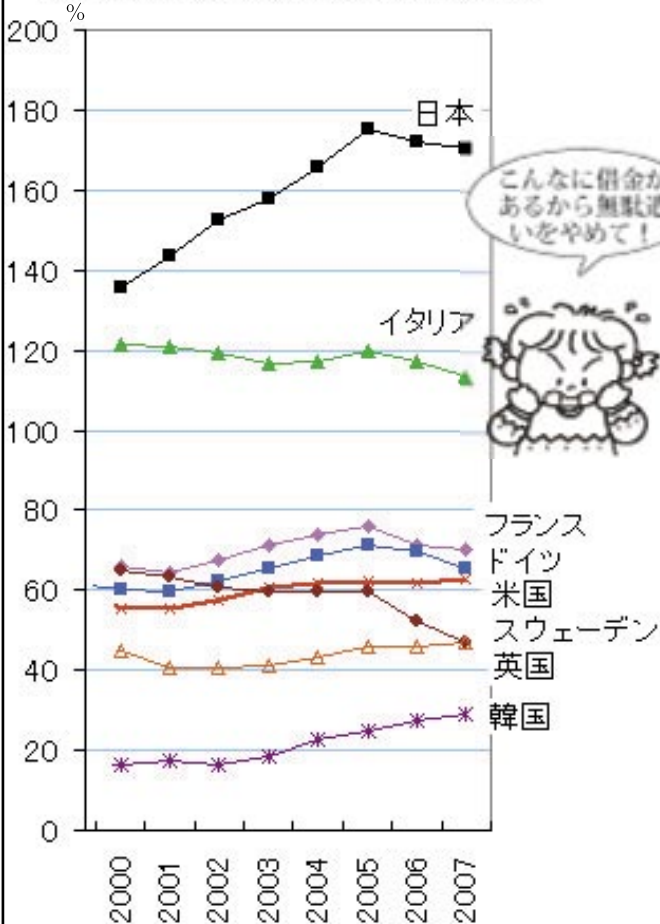
報じられました。

前述の中央職業能力開発協会は各都道府県に地方協会がある厚労省所管の特別民間法人ですが、このうち中央と八県について会計検査院が調査したところすべての場所でおかしな支出が見つかったと

いうのです。
例えば福井県の協会では、四年間の宴会と二次会に九九〇万円を費やしています。記念品などを含めると一五八五万円。

今回の補正予算案では、雇用促進や社会保障の基金を作るとしてこの協会に七〇〇〇億円の予算が計上されていますが、具体的に何をやるのかは決まっていません。税金の垂れ流しを天下り法人がし続けているのに対して、かたや政府は「骨太の方針」にそって、福祉関連予算を毎年二二〇億

政府債務残高の推移の国際比較



円ずつ削っていくことにしています。この結果、今年度から生活保護を受ける一人親家庭に支給されていた母子加算が全面廃止され、高校進学 of 断念など深刻な影響が出ているとのこと。

企業の業績悪化により、失業・減俸が続いている中で、社会保障の切り捨てを行いつつ、一部の官僚の利益は死守していく、このようなやり方は明らかに間違っているのではないのでしょうか。

エコカー減税と エコポイント制度の不思議

環境政策として導入されたエコカー減税とエコポイント制度ですが、買い換えが本来に二酸化炭素を減らすとは一概に言えません。

「あれはエコロジー（環境保護）じゃなくてエコノミー（経済）のため」という発言を耳にしましたが、果たして景気のためになるのでしょうか。

エコカー減税の追い風もあってか、5月の国内新車販売台数ランキング（軽自動車除く）によればハイブリッド車プリウスが

1万915台となり、初の首位に立ったそうです。あまりの人氣に今申し込んでも納車は半年以降になるとか。

しかし、この会社が昨年末に大量に解雇した臨時や派遣労働者を再び雇用したという話は聞きません。「環境保護」施策でいくら後押しをしても、今まで日本の主要産業であった自動車・家電部門が再び景気振興の主力になることはあり得ないと思います。

産業構造の転換が求められていると言われて久しいですが、政府はこれに関して全くの無策です。

株式などの投機経済の規制と 格差是正による内需喚起を

国民の生活を守り、この恐慌から出来るだけ早く抜け出すために政府がとるべき方針は次のことだと私は考えます。

①株式取引などへの減税の廃止 所得税の累進課税の徹底

世界的恐慌の中で輸出産業の伸びは見込めません。内需拡大のために所得の多い層に対してある程度の負担をお願いするべきです。

②銀行から金融部門を分離する

銀行の融資方針が株式取引などのマネーゲームの結果に引きずられることで、貸し渋りや貸し剥がしが行われてきました。中小零細企業が不労所得者の犠牲になる必要はありません。

③国内で消費する産業へのテコ入れ

雇用対策においては、介護や保育、看護など人手が必要なサービス産業や農林水産業のように国内の消費を主とする産業において仕事を作り出すのが有効だと思います。これらの産業が人手不足なのは、その労働に対して賃金が安すぎるからです。産業育成のために賃金保証も含めて税を投入するべきだと思います。

官僚支配を終わらせるため 総選挙での政権交代を

国民の生活に税金を使える政治に変えるためには、既得権にしがみついた官僚の政治支配を終わらせなければなりません。

一般市民の選挙への参加によって政権交代を実現し、国民のための経済施策を行わせましょう。

【お手伝いください】

いせ志穂事務所と市民会議はボランティアとカンパで運営されています。このニュースを知人に見せてください。ポスティングなどお手伝いいただける方は、ぜひご協力をお願いします。



【カンパのお願い】



私たちの生活を考えると国政を変えなければならないと思い、きたる総選挙での与野党逆転目指して、ボランティア選挙で闘う野党や無所属候補を勝手連的に支援しています。昨年末から始まった世界恐慌の中、大変心苦しいお願いですがカンパへのご協力もよろしくお願いします。

郵便振替口座 02230-8-52327 伊勢志穂

私の所属する会派の新しい名前は 「改革・みらい」です

六月八日、私の所属していた会派「改革（五人）」が「無所属クラブ（二人）」と対等合併し「改革・みらい」という新会派になりました。盛岡市議会では第二会派となります。



今回の会派再編の発端は前議長が一身上の都合で辞任を表明したことでした。一部マスコミによれば、この辞職は二年前の就任時から約束されていたとのこと。議長が四年の任期を務めずに交代していくというのは「ポストのたらい回しではないか」と全国的にも批判され始めていることです。

方だと思いますが、ここ数年、特定の会派の人たちしか正副委員長職に就けない状態でした。これでは様々な人が経験を積むことが出来ません。私たちは議会の活性化のためにすべての会派にその機会を与える様、議長に要望しました。今後さらに民主的な議会運営を求めています。

当時の第二会派（市民連合）に所属していた千葉健一議員がこれに反発。市民連合を離脱し、吉田久孝議員と無所属クラブというグループを結成しました。かねてから市議会の民主的運営について考えた近かった吉田議員から改革のメンバーに相談があり、対等合併する運びとなりました。

【改革・みらい メンバー】
鈴木一夫、千葉健一、高橋司、吉田久孝、藤川智美、鈴木俊祐、伊勢志穂

会派名	人数
盛友会	17
改革・みらい	7
市民連合	6
新盛同志会	5
日本共産党 盛岡市議会議員団	5
公明党	2

新しい会派構成

映画上映会のお知らせ

盛岡市の「みちのくみどり学園」に4ヶ月の合宿撮影をしたドキュメンタリー映画「葦牙（あしかび）」が、全国に先駆けて公開されます。スタッフは昨年公開され各方面で絶賛された「いのちの作法」の面々。

私も試写を（途中からです）見させていただきましたが、児童虐待から立ち上がろうとする子ども達や家族、それを支える教官の姿から「春に芽吹く葦の若芽＝葦牙」のような生命の力強さを感じました。

ぜひ、ご覧いただければと思います。

チケットはいせ事務所で取り扱っています。

2009 年 7 月 11 日（土）

岩手教育会館ホール

午前の部 10:00 ～ 午後の部 14:00 ～
（いずれも 30 分前開場）

大人前売 1000 円（当日 1200 円）
小中学生 500 円

現在、
3日に1人の子どもが
虐待によって、
命を落としています。

小池征人監督作品
葦牙
記録映画 - あしかび -
こどもが拓く未来